

これまでの実証実験

海上輸送における企業間決済への活用（産業流通分科会/ 2022年1月実施）

産業流通における決済分科会は、海上輸送取引における代金の自動算出およびDCJPYを活用した自動決済の実証実験を通じ、大きな業務負担となっている貿易取引当事者間の契約に関する作業重複や、請求から決済に至るオペレーションの煩雑さ、資金化までの長いタイムラグ等の課題解決に寄与すべく、技術検証と導入効果の確認を実施しました。

本取り組みを通じ、スマートコントラクトを活用した貿易取引の契約自動執行により、案件の登録から決済までをシステムで一貫して実施可能なこと、また決済に関連するバックオフィス業務について最大約80%の削減が見込めることがわかりました。

